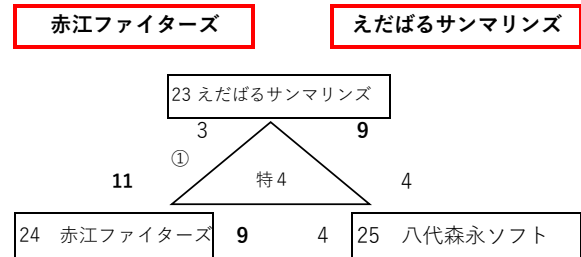
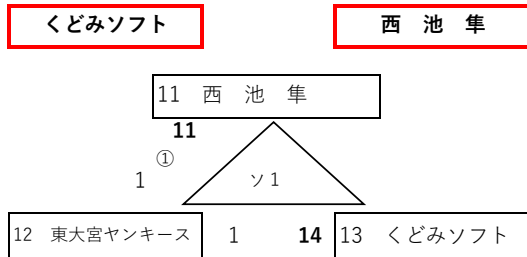
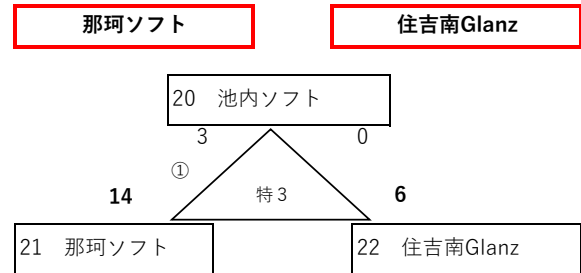
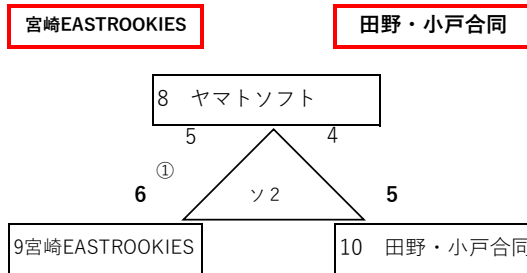
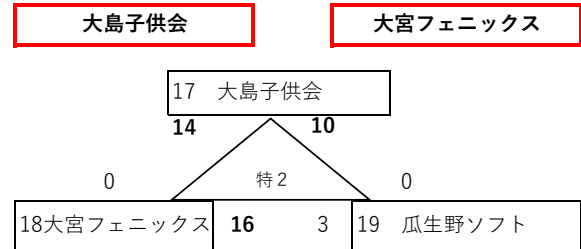
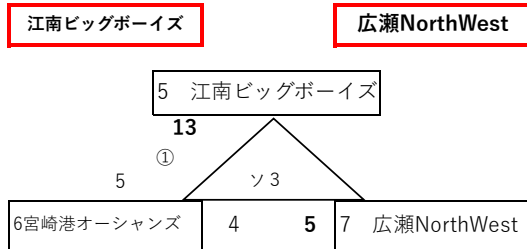
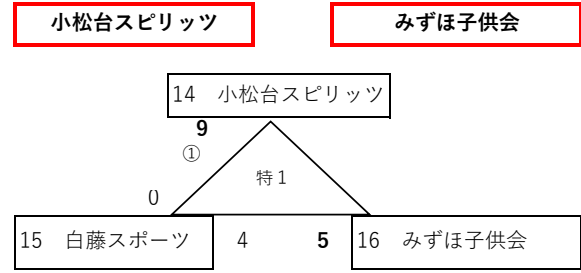
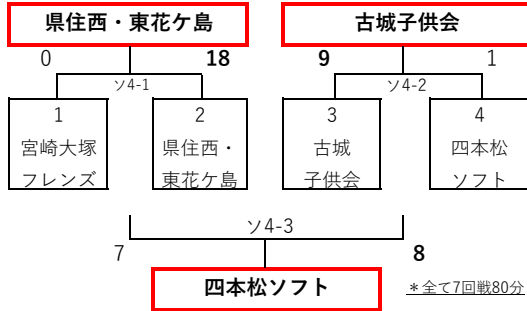


第18回全日本選抜・第35回全九州春季小学生ソフトボール大会（5年生大会） 市予選会

令和6年9月8日（日）大淀川市民緑地 田吉コート、監督会議 8:00～（ソフト4）、開会式 ナシ

【本戦】



○ソ1、ソ3、特1~4は、芝生地内に設ける。（前日に配置を明示しておく。）

○4チーム球場では1回戦勝ちチーム及び敗者復活戦勝ちチームが、3チーム球場では勝率が1、2位のチームが勝ち上がりとなる。

4チーム球場はトナリ戦、3チーム球場はリクリグ戦とし、どちらも7回戦、80分を超えて新しい回に入らない。

試合は、1アウト有り(3回15点、4回10点、5回7点差以上)、引分け無しとし、試合終了時同点の時は、タイブレークを決着がつくまで行う。

3チーム球場で2敗が出たら次の試合は行わない。3チームが同率(1勝1敗)となった場合は、2敗が出るまでタイブレークを行う。

2敗したチームは、【残り枠決定トーナメント】に進む。

○帯同審判員制とし、空きチームから4チーム球場は2名ずつ(第3試合も)、3チーム球場は4名出すこと(記録も含む)。球審は協会で行う。

○フィールドイングは、各チーム第1試合目のみ行う。

○3回終了時に5分間の給水タイムをとる(タイマー止める)。試合状況に応じて、審判員の判断で給水時間をとる場合もある。

【残り枠決定トーナメント】*枠決めは代表者による再抽選。

*試合はタイブレーク2回までとし、2回終了時同点の時は抽選とする。

*1回戦のみ空きチームから塁審記録を出すこと(球審は協会)。

